

都市再生整備計画 事後評価シート
修善寺駅周辺地区

平成28年3月

静岡県伊豆市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	伊豆市		地区名	修善寺駅周辺地区			面積	31.7ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成22年度～平成26年度		交付対象事業費	1,739百万円	国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	[道路]新町線 [公園]鹿島田公園 [公園]新町公園改修 [地域生活基盤施設]駅南広場 [地域生活基盤施設]駅西広場 [地域生活基盤施設]情報板 [高質空間形成施設]駅前線 [高質空間形成施設]駅前通り線 [高質空間形成施設]新町坂下線 [高次都市施設]駅北広場 [高次都市施設]観光案内所										
		提案事業	[事業活用調査]事業効果計測調査 [まちづくり活動推進事業]利用者検討委員会										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	[公園]新町公園改修 [高次都市施設]駅北広場		削除/追加の理由			計画区域内の保育園、幼稚園の統合により、保育園と隣接していた新町公園も新規こども園用地としたため、駅北広場の計画変更により、盛土となったため構造物が不要となった。					
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業	[公園]牧之郷公園(仮称) [地域生活基盤施設]駅北広場耐震性貯水槽		削除/追加の理由			こども園新設により新町公園が廃止となったため、廃園となった幼稚園跡地を公園利用する。駅広場及び周辺地域の安全性、防災力の向上のため追加					
		提案事業	[地域創造支援事業]牧之郷幼稚園舎撤去 [地域創造支援事業]猫坂階段 [地域創造支援事業]倉庫		削除/追加の理由			廃園となった幼稚園跡地を公園用地として利用するために追加地区住民、階段上部にある小中学生の動線であり、歩行者の安全確保のため追加耐震性貯水槽の管理資材の保管庫が必要となったため追加					
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	変更なし										
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
指標1		駅周辺整備満足度	%	2.4	H21	30	H26				あり なし	駅前整備の遅れの影響があるものの、修善寺駅周辺の都市基盤整備の完了に合わせてまちの賑わいづくりを生み出すまでは至らなかった。しかし2020年開催のオリンピックのための駅周辺整備に向けた初期整備として効果を発揮した。	-
指標2		歩行者交通量	人	1,186人/12時間	H21	1,200人/12時間	H26				あり なし	生徒・児童数の減少及び観光客が減少しており、歩行者交通量が減少したと同時に、駅北広場整備等により駅周辺の人の流れが分散化した。	-
指標3		車両混雑解消満足度	%	20.9	H21	5.0	H26				あり なし	駅北広場や市道の整備により、駅南広場の車両混雑を感じる市民はわずかに少なくなったが、通勤通学時の駅周辺の混雑解消までには至らなかった。しかし、公共施設整備の初期整備として、中心市街地の交通まちづくりの足掛かりとなった。	-
指標4											あり なし あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	駅周辺の安全度	%	18.1	H21						カラ・舗装などによる歩行者空間の明確化、確保を行ったことで、安全な公共空間を創出した。	-	
	その他の数値指標2	駅周辺の景観	%	3.1	H21						駅舎や駅前広場、周辺道路等の整備により、駅を中心とした景観の魅力が向上した。	-	
その他の数値指標3	賑わいづくりへの貢献	%	47.8	H21						駅舎や駅前広場、観光案内所等の整備により、ハード面における充実が図られ、駅周辺の賑わいづくりの土台固めとなった。	-		
4) 定性的な効果発現状況	・駅西広場の整備により南北の駅前広場が繋がり、駅周辺の利便性や回遊性が高まったことで、これまで駐車場や空き地等になっていた駅北側の低・未利用地への土地利用が促進された。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた整備(歩道の段差解消、点字ブロックの設置等)により、駅利用者や学校、病院、商店街など、駅周辺施設利用者のための安全、安心な空間の創出ができた。 ・南・北・西の駅前広場整備により、駅利用者の回遊性が高まるとともに、駅利用者や歩行者に休憩スペースを提供できたことによる「居場所」ができ、滞留性が高まるとともに賑わいの創出ができた。 ・駅北広場への駐車場整備(時間貸・有料)により、駅周辺における自動車利用者の利便性が高まった。 ・駅周辺整備に合わせ、駅周辺の土地利用が進み、商業施設(店舗等)の増加や建築物の建替え更新が行われ、人々の流れによる賑わいが創出されつつある。 ・本市の伊豆ペドロームにおいて、2020年東京オリンピックの自転車競技開催決定を受けて、最寄駅でもある修善寺駅の周辺整備の重要性が大きくなるとともに、オリンピックを契機とした修善寺駅周辺における今後のまちづくりへの期待がさらに高まっている。												

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加プロセス	修善寺駅周辺整備計画利用者検討委員会 (景観検討、利用形態検討)	都市再生整備計画に記載し、実施できた		委員や委員の所属するNPOなどで、整備した施設の利用方法の提案やイベントなどの参加呼びかけを行っていく。また委員が所属するNPOが中心となり、引き続きまちづくり活動を推進していく。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	修善寺駅周辺エリア社会実験 (特定非営利活動法人修善寺総合研究所)	都市再生整備計画に記載し、実施できた		事業により修善寺駅周辺施設が整備されたことを受け、今後有効利用を図るべくイベントの企画立案、参加者の呼びかけ、植栽管理の官民協働の推進の中心的存在として活動していく。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2 - 2 地区の概要

修善寺駅周辺地区(静岡県伊豆市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 伊豆の玄関口にふさわしい「訪れやすく住みやすい」誇りあふれる修善寺 小目標: 中心市街地として都市機能を高めた賑わい空間を創出する ユニバーサルデザインに配慮した、安心、安全な空間創出する 伊豆の玄関口としての風情を創出する	駅周辺整備満足度	単位: %	2.4	H21	30	H26	22.8	H27
	歩行者交通量	単位: 人	1,186人/12時間	H21	1,200人/12時間	H26	937人/12時間	H27
	車両混雑解消満足度	単位: %	20.9	H21	5.0	H26	17.3	H27



まちの課題の変化

- ・車優先社会の遺物として、依然、歩行者や交通弱者に対しての配慮が不足しているため、ドライバーはもとより、地元商店なども歩行者や交通弱者にやさしいまちづくりを推進する必要がある。
- ・市民の間では依然として自動車利用のニーズが高く、周辺道路の混雑解消や駐車場等の整備が必要なほか、観光で訪れる車両に対してもわかりやすいサインを設置するなど、自動車利用に関する更なる整備が求められている。
- ・また、自転車利用への対応も同様求められる。
- ・まちの賑わいを生み出すために、地域商業の活性化が望まれており、今後、駅前商店街を中心とした回遊性のある魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。
- ・駅舎や駅前広場などの公共空間だけでなく、駅周辺の街並みとして、伊豆(修善寺)のアイデンティティを示す景観まちづくりの推進が必要である。
- ・公民連携による街並み整備やソフト面の充実を図り、修善寺駅周辺のまちづくりのにぎわい、活性化に寄与する。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

効果を継続させるために行う方策

- ・公共施設整備を行ったことで、今後は地域住民や商業者が主体となったまちづくりの機運を高めていくとともに、観光客も市民も気軽に集えるまちかどの賑わい空間を創出する活動に対し、行政が支援をしていく。
- 併せて空き店舗や低・未利用地(駐車場等)の改善と新たな活用を図るための検討を進める。

改善策

- ・駅前商店街を中心として、空家・空き店舗の活用と駅西側広場を活用した各種イベント等のソフト面での充実を図り、にぎわいの創出を図る。
- ・都市基盤施設の整備を契機として、駅周辺における良好な街並み景観の形成に向けた取り組みを推進する。
- ・修善寺駅周辺における歩道等の歩行空間のネットワークを強化するとともに、休憩場所などの整備により安全性や快適性の向上を図る。
- ・整備した駅前広場の利便性のさらなる向上を図る。